

牛の暑熱対策について

気象庁が発表した向こう3カ月（6～8月）の天候の見通しでは、関東甲信越地方は、気温が高いとのこと。特に7月は平年に比べ太平洋高気圧に覆われやすいため、気温が高いと予報しています。

牛は、暑さに弱い動物で、適温は10～18℃くらいと言われています。暑熱の影響として、「乳量・乳質の低下（乳牛）」、「採食量減少による増体量の低下（特に肉牛）」、「受胎率の低下及び繁殖障害」、「乳房炎をはじめとする感染症の増加」などがあげられます。

暑熱対策のポイントにまとめました。適切な暑熱対策を組み合わせることで、牛が健康で快適に夏を過ごせる環境を作り、生産性低下を防ぎましょう。

（ポイント）

① 輻射熱のカット

- ・屋根への断熱塗料や石灰の塗布など

② 直射日光のカット

- ・開口部への、寒冷紗、カーテン、よしず、“緑のカーテン”の設置

③ 反射熱のカット

- ・牛舎周辺への散水や植樹・植栽で、地表の温度を下げる

④ 牛体の放熱促進

- ・送風ファン、送風ダクトの利用。細霧システムと送風ファンの組合せが有効です。
- ・乳牛では毛刈りを実施し、肥育牛においては飼養密度を下げましょう。

⑤ その他

- ・冷たい水を給与し、飼料は出来るだけ涼しい時間帯で給与しましょう。
- ・良質な粗飼料を給与し、ビタミン、重曹や食塩などのミネラルの補給も忘れずに。



※送風ファンなどの電気器具の取扱には注意が必要です。使用する前に、コンセントとプラグ間のホコリの掃除。また、タコ足配線、配線器具の老朽化がないか点検を行いましょう。

神奈川県県央家畜保健衛生所

〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：(046)238-9111 ファクシミリ：(046)238-9124

東部出張所 〒226-0015 横浜市緑区三保町2076

電話：(045)934-2378 ファクシミリ：(045)934-5432